

第24回宇美町少年・少女の主張大会最優秀賞 令和5年度「青少年の声」標語入選作品

1月19日(日)地域交流センター2階多目的ホールで、「第24回宇美町少年・少女の主張大会」、「令和5年度『青少年の声』標語表彰式」が開催されました。
最優秀賞作品と、標語の入選作品をご紹介します。今回は中学校の作品です。



「宇美町少年・少女の主張大会」とは

子どもたちに、広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力、柔軟な発想力や創造力などを身につけてもらうことを目的として実施されています。各小中学校の代表が、家族や学校、地域について日ごろ感じていることなど、自由な発想で主張しました。

人の楽園

宇美東中学校 2年 戸田 翠月(とだ みつき)さん

みなさんは「ラットパーク」という言葉を聞いたことがありますか。「ラットパーク」とはブルース・アレクサンダー博士による、ねずみを用いた薬物依存症の実験です。別名、「ねずみの楽園」とも言われています。複数のねずみを入れ、仲間と交流することができる楽園ねずみの部屋、一匹だけ孤立させられる植民地ねずみの部屋の二部屋にわかれて実験を行います。そして各部屋にふつうの水と薬物入りの水を置いておきます。すると、楽園ねずみは仲間との交流を優先し、薬物入りの水をほとんど飲みませんでした。一方で、植民地ねずみは薬物入りの水を求めつづけ、完全に薬物に依存してしまいました。この状態のまま、植民地ねずみを楽園ねずみの部屋に放つとねずみは、仲間たちとじゃれ合いふつうの水を飲むようになっていきました。この実験の結果は、薬物依存症の原因が、薬そのものではなく、環境にあるということを示すものでした。そしてこの結果は人間にもあてはまるものではないかと私は思いました。

昨今のニュースを見てみると「昨日、午後五時、福岡市のアパートで女性の遺体が・・・」などといった物騒な事件の報道を多く耳にします。ニュースのキャスターは続けて、犯人の動機について明かします。「むしゃくしゃした。」「悪口を言われたからやった。」などと犯人たちは皆口をそろえて言います。しかしこれはあくまで犯行に及んだ動機だけであって、その犯人がなぜこのような考え方をするようになったのかという根本的な原因に迫ることができないのではないかと思います。しかし数日もたてば、犯人は昔いじめを受けていた、親からひどい

扱いを受けていたなど決して良い環境とはいえないようなところで育ったことを知り少し納得してしまいます。「ラットパーク」とは少し違う部分があるにせよ、どちらも幸せな環境だったら、だれかが助けてくれていたらまた違った結果になっていたかもしれないと思います。実際、犯罪をおこすキッカケとなるものは、ストレスや人間関係、家庭環境によるものであるといわれています。「ラットパーク」のように全人類の家庭環境や人間関係を全て管理する、なんてことはできないと思いますが、例えばそのような人たちがにげられるような場をもっとつくり、周りに悩んでいる人がいたら少しでも話を聞いてあげたりとすることはたくさんあります。でもそんな勇気のある行動がいざというときにできる人も少ないだろうし、昔、「つらい思いをしたから」などと言い訳して犯罪に手をそめるような人に同情の余地はありません。でも、悩んでいる人たちがほんの少しでも救われるようなしくみをもっと世間に広まれば社会はもう少し明るくなるのではないかと思います。

某有名少年マンガのある人物は「対処療法じゃなくて原因療法がしたい。」と話しています。この言葉を借りるのであれば、犯罪を犯した人の処罰や対処の法をつくる対処療法をするより先に、苦しんでいる人を助けてあげられるようなしくみをつくり、もっと原因について目を向けることが大切であると言えます。快適なくらしや仲間のいる「ねずみの楽園」。私たちもこの楽園のようにお互いを支え合う「人の楽園」をつくっていきませんか。

「青少年の声標語」とは

「学校・地域・家庭」をテーマに、「ふるさと・宇美町」の未来、あいさつや人を思いやる心の大切さなどについて、考えてもらうことを目的として実施されています。各小中学校から応募があった全2,897作品の中から最優秀賞、優秀賞を掲載します。

令和5年度「青少年の声」の標語 結果

- 宇美中学校**
- 優秀賞 1年 春本 涼葉(はるもと りよ)さん
ここが好き その一言で 変わる町
 - 佳作 2年 中村 愛琉(なかむら あいる)さん
紅く染まる宇美町の山 静かに灯る家々の窓
 - 佳作 3年 網代 ひまり(あじろ ひまり)さん
やさしさが うまれ育つ地 宇美の町

- 宇美東中学校**
- 最優秀賞 1年 立花 梨華(たちばな りか)さん
光さし 緑輝く ふるさと宇美
 - 佳作 1年 久本 優空(ひさもと ゆら)さん
ふるさとの 良きうつくしさ 守りたい
 - 佳作 1年 藤木 良丞(ふじきりょうすけ)さん
歩み出そう 小さな一歩 大きな未来
- 宇美南中学校**
- 優秀賞 3年 石井 大智(いしい だいち)さん
立ち止まり 心を開く 数秒間
 - 佳作 1年 園田 真子(そのだまこ)さん
枯れた挨拶を 花を咲かせる挨拶に
 - 佳作 3年 柴 來也(しばらいや)さん
おはようと 今日あの子と 話せたぞ

健康だより

子宮頸がん・乳がんの検診無料 クーポン券は利用しましたか？

健康課 健康推進係
☎ 934-2243
FAX 933-7512(代)

昨年4月に、以下の対象者に無料クーポン券を送付しています。

	子宮頸がん	乳がん
対象者	平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ的女性	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生まれ的女性
予約方法	指定医療機関へ直接ご予約ください。 ※指定医療機関は、町ホームページ、福岡県医師会ホームページよりご確認ください。	
受診方法	受診の際は、無料クーポン券を必ずお持ちください。 その他、必要なものはご予約の際にご確認ください。	
有効期限	令和6年2月29日まで	

子宮頸がん検診は約5,000円、乳がん検診は約8,000円かかる検診です。
これらのがん検診が無料で受診できるのは、子宮頸がん検診は21歳、乳がん検診は41歳の時のみです。
がんは、早期発見・早期治療により治る可能性が高くなります。
この機会にがん検診を受診してみませんか？
※役場⑥窓口 健康課で無料クーポン券の再発行も行えます。再発行を希望する場合は、健康課までお越しください。



町立図書館
☎932-0600
FAX932-0631

新年のご挨拶

恭賀新春

昨年(令和5年3月)、新たに宇美町が目指す将来像と町づくりの方針として『第7次宇美町総合計画』が策定され、「子どもの読書活動の推進」が明示されました。町立図書館は、これまで、町内8小中学校と連携・協力し、「小中学生の読書リーダー・サポーター育成」や「図書館を使った調べる学習コンクール」などに取り組んできました。また、子どもの発達段階に応じた「ブックスタート」や「読み聞かせ」なども行っています。

町民の皆さんには、このような取組を行っていることを知っていただければと思います。そして、今年も町民の皆さんの読書支援を第一に考えた図書館運営を、職員と共に進めてまいります。ぜひ、本図書館をご利用ください。

館長 中島 康幸

2月の特集コーナー

一般書コーナー

「愛 vs お金 どっちが大事？」というテーマで恋愛小説、お金に関する本を紹介しします。

1日1分読むだけで身につくお金大全100
改訂版 電子書籍版
頼藤 太希/著
高山 一恵/著
自由国民社



YA(中・高校生向け)コーナー

「ちょこっと読書」をテーマに、短時間で読める短篇集や絵本を紹介しします。

5分で感動書店にまつわる泣ける話
電子版
矢尻/著
マイナビ出版



児童書コーナー

2月22日はねこの日。「にゃん! ニャン! Nyan! ねこ!!!」というテーマで、ねこの本を紹介しします。

ながねこさん
電子書籍
ケンヤ・カセ/さく
出版者:アイフリーク
モバイル



図書館臨時休館のお知らせ

▶期間 2月14日(水)～23日(金・祝)

蔵書点検を行います。期間中、本や雑誌の返却は、正面玄関横の返却ポストをご利用ください。CD、DVDは破損の原因になりますので開館日に直接カウンターへお返しください。宇美町役場総合案内、うみハピネス窓口での返却もできます。(開庁時のみ)

期間中は、ぜひ宇美町電子図書館をご利用ください。

ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



宇美町
電子図書館
利用方法へはこちら



宇美町
電子図書館へは
こちら